

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年2月23日(火)午後7時00分～午後8時45分		
会場	本楯公民館	出席者数	45人 (男38・女7)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p><市長講話></p> <p>「寒河江市を巡る情勢」の資料を用いて講話 「景気・雇用対策」「少子・高齢化対策(人口の減少)」「財政健全化の取り組み」を中心に講話</p> <p><質疑・応答></p> <p>(質問：意見)</p> <p>1 50年、100年先の寒河江市はどのようになっていると思うか。</p> <p>(回答：市長)</p> <p>将来の予測はなかなか難しい。50年後の人口予測について話をしたが、トータルで日本全体の人口の減少は避けられない。地球温暖化が問題になると言われている。このままいけば地球温暖化で海面が上昇し、東京や大阪あたりは海面下になると予測され、そこにいる人口が地方に分散化なるのではないかと、現在、地方の人口が減り都会に人が集まっているが、50年後は大都会から地方に人が戻って増えてくると考えられる。子どもから働く人も年寄りもいて、自然環境を守っていけるような社会につくっていかなければならないと思っている。</p> <p>(質問：意見)</p> <p>2 本楯区の課題として、ひふみから万福寺までの道路で日東ベストの駐車場に通勤する車が多く通学時間と時間帯とが重なり、特に冬期間は車が来ると除雪していないところによけなければならないことや車が多いので危ないなどといった小・中学生からの声があり、拡幅はできないものか。畑が4筆ありそこだけでも拡幅できないか。</p> <p>(回答：市長)</p> <p>その話は以前より聞いており、いろいろ検討はしているものの、水路の付け替えや電柱の移設など課題があるが、緊々にしなければならないと思っているのでなんとかいい方法を決めて、やれるところから対策を講じて実施していきたい。</p>			

(質問：意見)

- 3 予算は年度末に使いきると聞いているが、市でもそうしているのか。市立病院の赤字額と、主な原因はなにか、その対策についてどのように考えているか。

(回答：市長)

予算を残すと次年度の予算が削られるなどと、昔はそういう傾向はあったが、できるだけ効率的に予算を執行し、そうして残ったお金は次年度の事業に回すとか、有効に使っているのもそういうことはない。今は3月に減額補正などを行い、効率良く効果的に予算執行している。

20年度の決算でいくと収入と支出のバランスで、単純に比較をすると6億円ほどの赤字となっている。公立病院は不採算部門もやらざるを得ないところがあり、このことによる赤字分には、市から繰り出しができることになっている。繰出基準があり、毎年3億円ほど繰り出している。去年は病棟改修のため閉鎖した期間などもあり、臨時的に収入が入ってこないことが重なり、6億円ほどとなっている。

今年度についても経営がなかなか改善しない。不採算部門の3億円は当初予算で繰出ししているが、それ以上に赤字が出る見込みで、補てんができるか検討しているところである。

原因としては今年度から医師が1名減ったことで、患者が増えないなど厳しい現状である。昨年10月からコンサルタント会社に経営改善のノウハウやアイデアなどを出してもらうようお願いしている。市民の皆さんからも患者を増やすアイデアやなど知恵をだしていただき、改善に協力をお願いしたい。建物も老朽化しているので、少しずつではあるが改修していく考えで、そのほかにも改善を心がけ市民の皆さんから来ていただける病院にしていきたい。

(質問：意見)

- 4 通学路になっている「しまむら」から112号を横断する地下道が、階段が20段あり、深く子どもや年寄りでは歩くのが大変である。地下道を使わないで、上を横断する人もいてとても危険である。浅く改良はできないものか、また、石山鉄工所から熊坂医院の前の側溝が古くがたがたで危ないので足元を平にできないものか。

(回答：市長)

地下道については、国土交通省の管轄であり、石山鉄工所から熊坂医院の前の道路は県の管轄である。予算やいろいろ課題はあると思うが、国、県に地元として要望していくことが大切である。地下道については、西根のJ Aアグリに渡るところも階段が急で、改善を要望していたが、国で改良することになった。通学路でもあり、交通安全の面から地元の要望として市も要望していく。1度要望したからといってそのままにせず、地元の熱意が伝わるようになるまで何度も要望していただきたい。

(質問：意見)

- 5 6月のさくらんぼの時期のマラソンや種飛ばしの行事は、東根市が先行して本家本元の寒河江市のお祭りが縮小している。存続させるのか、どうするのか。

(回答：市長)

さくらんぼ祭りだけでなく、神輿祭りにしても市外の方にはあまり知られていない。さくらんぼ関連だけでなく、市の祭り全体を見直していくべきと思っている。お祭りは行政主体ではだめだと考えている。市民の皆さんが主役になって盛り上げるのが大切でアイデアを出してほしい。寒河江らしい新しいお祭りを構築し、それを全国に発信していくことなど行政もやることはある。県内外に情報を発信していく、PRなどの支援をしていきたい。市民の皆さんがどういうお祭りをしていきたいのか考え、市民がお祭りを作り上げていくことが大切で、それが街づくりに繋がるのだと思う。庁内でも検討しているが皆さんからもアイデアをだしていただきたい。

(質問：意見)

- 6 保健所の事業で17年に本楯がモデル地区として、閉じこもり予防対策として何がいいのか検討されたが、みんなが集い合うサロンが1番よくなり、現在も続いている。市でもサロンの充実などに力をいれているので今後もお願いしたい。

(回答：市長)

ふれあいサロンは24か所から49か所に増えたが、男性の参加が少ない現状である。どうしたら参加者が増えるのか、男性が参加しやすい各種教室に取り組んでいるところや工夫していることがあれば紹介して、サロンの活性化に努めていきたい。

(質問：意見)

- 7 厳しい状況の中で市長の夢、ビジョンについて。
市の景気・雇用対策の取り組みの具体的事例について。

(回答：市長)

人口が減少していく中で、寒河江市だけでなく西村山全体としてどのように活性化していくのかということを考えていかなければならない。定住人口だけでなく交流人口も増やしていく。そのため仙台との交流なども進めているが、寒河江だけでなく、西郡全体の歴史・文化の紹介など全体としての観光振興や開発、西郡全体の資源を活用しながら、活性化していく必要がある。高速道も無料になる区間もあるので、庄内や仙台などからどんどん来ていただきたいと思っている。

寒河江は県の中心にあり、交通の便もいいし住んでいいところ、暮らしやすい地域として、子育て支援や働く場の確保など生活に密着した支援策を講じていけば、さらに魅力ある地域になると思うので、これらを

充実していきたい。22年度は市の第5次振興計画の見直しを考えており、寒河江市の活性化に向け市民の方の協力を得ながら取り組んでいきたい。

景気・雇用対策の取り組みとしては、22年度は企業に業務委託として、111人、市に8人の雇用を予定している。花咲かフエアの手伝いなどの作業も含まれている。ハローワークを通じて雇用することになる。

(質問：意見)

- 8 街灯がほかの地区より少ない気がする。増やして明るくしてほしい。
沼川の水はきれいになったが、ビニールが岸边についていたり、立木が繁茂したりしているのでクリーン作戦など方法はないのか。

(回答：市長)

街灯設置の要望は大変多いので、要望すべてをかなえることは難しいのが現状である。防犯灯がいいのか街路灯がいいのか、現場を見させてもらいたいので具体的な場所を教えてください。市民生活課が担当しているので、相談していただきたい。

県の協力も得ながら対応策について検討していく。クリーン作戦など一斉にする場合は、地域の方の協力も必要なので相談させていただきたい。

(質問：意見)

- 9 行政改革推進委員の公募など実施し、開かれた市政運営に努めていることに敬意を表す。財政の健全経営として、恒常的にかかる経費はできるだけ減らして行くべきと考えるが。

(回答：市長)

経常経費はできるだけ減らして自由に使える経費を増やしたいと思っているが、年々扶助費の占める割合が増え、投資的な経費が少なくなっている。扶助費は福祉などに係る経費でいろいろな手当や医療費などであり、なかなか減らせない現状である。全体のパイを増やしていけば投資的な経費に回せる分も増えるが、難しい状況である。

政権が交代し、地方重視政策等をやっていくということで、22年度の地方交付税は昨年度の当初予算の6.8%伸びの42億円ほどである。これらをどう使うか工夫していきたい。

(質問：意見)

- 10 寒河江市の最高気温、最低気温はわかるか、そういうデータはあるのか。

(回答：市長)

データはない。

(質問：意見)

- 11 ひふみから万福寺までの都市計画道路は今も生きているのか。あるとす

れば、道路整備してもらいたい。

(回答：市長)

都市計画道路として計画にのっているが、当面は安全な道路の確保を優先してできるところから整備していきたい。